



明日があるさ通信

さくらが丘こどもセンター
放課後児童クラブ便り
令和 4年 12月 1日 No.9

「平凡の奇跡」

12・1月の予定

- 12月26日(月) クリスマス会
- 12月27日(火) もちつき
- 12月26日(月)～1月9日(日) 冬休み
- 12月29日(木)～1月3日(火) 年末年始のため休所
- 1月17日(火) 入所説明会(新入所児対象)

さくらが丘こどもセンター職員の

むかしばなし



いげとし まもり
重利 万萌理

《運動会のマーチング》

私が通っていた小学校では、毎年運動会でマーチングをしていました。夏休み前から練習が始まり、夏休み中の午前はマーチングの練習、午後は水泳の特訓(1日で1km泳ぐ日も…)ととても濃い夏休みを過ごしていました。

曲がある程度演奏できるようになると、次は運動場で隊列を組んで行進の練習を行います。へとへとなりながらでしたが、少しずつ完成に近づいていくことが当時はすごく嬉しく、楽しかったように覚えています。2学期に入ると競技や応援練習の合間、放課後に合奏練習をして、運動会まで追い込みをしていました。

運動会本番、マーチングが始まる前の静けさと緊張感、演奏が終わった後のやり遂げた気持ちは今でも覚えています。一つのことを仲間とやり遂げることはとても貴重な経験でした。今でも演奏した曲や指導して下さった先生の顔を思い出します。



おしらせ・おねがい

- 12/17(土)はさくらが丘保育園の発表会開催日です。保育園にきょうだい関係がいる方は発表会開催時間の土曜日利用が可能です。利用料は1,000円になります。12/15(木)夕方6時までに土曜日利用申込書をこどもセンターまで提出してください。保護者の方が仕事で一日お子さんを預ける場合は、給食がありませんので、おかず入りの弁当の持参をよろしくお願いいたします。
- 冬休み利用票の提出ありがとうございました。変更がある場合はGoogleフォームで回答してください。
- 冬休み中の主食弁当持参日は、毎月配布している給食カレンダーをご覧ください。

11月には美しい紅葉が楽しめた景色も、12月の足音を聞くと冬将軍の到来を感じさせるようになってきます。令和4年も最後の月となり、月日がたつ早さを一層感じられます。

この1年ほど、変化が大きく、また私たちの生活に影響するでき事が多かった年はなかったのではないかと感じます。社会現象、政治情勢、そして周りの人間関係さえ、大きく動いた年回りではなかったかと思えます。

コロナといやでも関わる日常の中で、社会生活も学校生活も、大きく変化した生活を私たちはいや応なく受け入れざるを得なくなりました。マスクで相手の顔が見えない中で生活をする不自由さ、学校では多くの行事が中止されたり、簡素化されたりすることもありました。入学式や卒業式を経験しない学生がいることも、大人としてやるせない気持ちになってしまいます。そんな中で、今年特に感じたことは、「当たり前前のおかげがたさ」でした。

平和なときには、毎日が平凡々と過ぎゆくことを、退屈だとかつまらない、などと時に感じたことを、今では恥ずかしくさえ思います。戦争が遠くのでき事ではなく、身近に爆弾や鉄砲の恐怖を感じる時代になると、だれが想像したでしょうか。それだけに、朝起きると目が覚めて命があることのおかげがたさ、今日もご飯が食べられることの幸せ、家族がいる喜びなど、小さな幸せを感じるが多くなりました。

人間というのは普通に暮らしていると、不平を言うようになるそうです。文句を言い、不平を言い、それがいい方向に向けば、仕事で改善しようという原動力になることもあります。しかし、多くの場合は愚痴をこぼしたり、時には相手を責めたりと、どうも穏やかな方向にはいかないことの方が多くなってしまおうようです。

ウイルスだけでなく、言葉にも伝染力があります。おもしろいことに、プラスの言葉よりマイナスの言葉の方が伝染力は強く、またスピードも速いようです。悪口が悪口を呼び、文句は更なる文句を招き、どんどん負のエネルギーと渦が大きくなってしまいます。

そんな泥沼に入らないために、私はちょっとしたささやかな幸せを、毎日数えることにしました。例えば、今日もお日様を見られて幸せ、ご飯の味を感じながら食べられると幸せ、やや出てきた腹を見ながらも前よりちょっとしまったように感じる幸せ、耳が遠くなってきたのは人の悪口を聞かなくていいからだろうと勝手に思う幸せ、腰が痛いながらも2本の足でどこでも行けることの幸せなど、小さな幸せを数えると、なぜか幸福感が増してくるから不思議です。

私は仕事柄こどもと関わることも多いので、小さなこどもたちの純粋な心に触れるとなんとも言えず幸せを感じます。わが子と一緒に暮らせるのは、実は人生の中のほんの短い時間です。そう思うと、怒るより一緒に笑って、楽しい思い出をいっぱいつくった方が、きっと何倍もみんな幸せになるでしょう。

不透明な時代を生きる私たちだからこそ、毎日の暮らしを「当たり前と思えば不満が出る」、でも「平凡な毎日ありがたいと思えば幸せが多く集まる」そんなことを近年感じるようになりました。あまり悟ってしまうと早くあの世に召されるとか。煩惱でいっぱいの私は、まだまだ生きる気満々です。なんたってこどもたちや保護者の皆様、そして職場の若い方々にお伝えしたいことが多いものですから、神様、まだ呼ばないで下さいね!

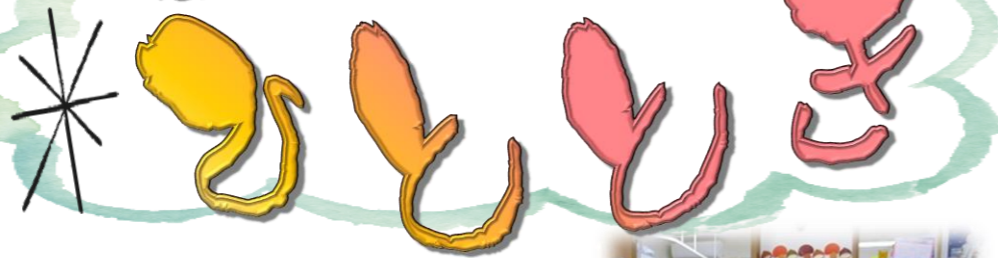
さくらが丘こどもセンター 所長 杉井 康志

さくらが丘こどもセンターのHPには、下のHP アドレスまたはQRコードよりアクセスできます。

URL: <https://sakuragaokakodomo.okayamakodomokyokai.jp>



放課後の



11月の壁面には、さつまいもや柿、くり、ぶどうなど秋の美味しい食べ物をたくさん作り飾りました。一人から二人、三人とどんどん増えていき、たくさんの子どもたちが壁面作りに参加をして楽しく壁面作りができました。翌月の壁面も子どもたちと楽しみながら作りしたいと思います。

少しずつ日が落ちるのが早くなり、5時半には真っ暗になっています。そんな中でも投光器や外灯の明かりを頼りに子どもたちは元気に鬼ごっこや長縄など園庭で遊んでいます。しっかり身体を動かして寒い冬に負けないように元気に過ごしたいと思います。



猫の指人形完成！折り方も自分たちで考えていました。

柿、くり製造中！
一つひとつ丁寧に作っています。



組んでいる木に登っています。頂上からはどんな景色が見えるでしょうか？



音を頼りにタイヤで鬼ごっこをしています。タッチできるかな？



皆既月食を眺めました。少しずつかけていく様子を観察しながら、自然の不思議を感じました。

発表会振替休日の午後は、映画を見てゆっくり過ごしました。静かに、真剣に見ています。



すいすいとうんていを行ったり来たり、遊んでいます。



玄関、下駄箱掃除をしています。掃除した後はピカピカ！



長縄で遊んでいた子どもたち集合！
はい、チーズ！



クリスマスリース作成中。少しずつパーツを折っていきます。



立のこ 成長記録

発表会振替休日はクッキングをしました。1～3年生は豚汁、4・5年生はご飯を担当しました。豚汁作りでは野菜の皮をむいたり、切ったりして交代しながら準備をしました。ご飯作りでは落ち葉を掃いて釜戸を置く準備やお米の準備、薪の準備、火の番などさまざまな役割がありましたが、仲間とわいわい楽しみながらご飯を炊きました。

お待ちかねの昼食、園庭で炊き立てのご飯と温かい豚汁を食べました。出来立ての味はとっても美味しかったようで、たくさんの子どもたちがおかわりをしていました。自分たちで作る、よい体験になりました。

